

第5回事業系ごみ専門部会
議事録（概要）

1 開催日時 平成30年8月29日（水） 13:30～14:30

2 会場 第3委員会室

3 出席者

（1）委員・・・3名

森島部会長、石塚特別委員、須藤特別委員

（2）事務局・・・8名

清田経済環境部長、谷澤経済環境部次長、小川環境課長、
吉沢課長補佐、濱田主幹、倉橋係長、音道主事、三村非常勤特別職

4 傍聴者 1名

5 議事

・事業系ごみ減量化策に向けた整理

発言者	発言要旨
部会長	「事業系ごみ減量化策に向けた整理」に関して、事務局の説明を求める。
事務局	～資料に基づき説明～
部会長	資料 P5 少量排出事業所の指定袋制度の条件について委員の意見を求める。
委員	袋が破れた状態でごみが排出される等のトラブルが想定されるのでは。他市でトラブルの有無について聞いているか。
事務局	大和市・藤沢市の収集におけるトラブルの事例までは伺っていないが、どちらも燃やせるごみは戸別収集となっているため、個別指導は可能と思われる。
委員	他市では家庭系と同じ車両で回収しているため成り立っていると思うが、事業系のみ収集となると厳しいのではないか。
事務局	収集運搬業者は、1回当たり何袋であれば収集するのか。
委員	1袋でも収集する許可業者もいる。一定量溜めてから出した方が良いのでは？と提案する許可業者もいるようである。
部会長	条件については、他市を参考にし、収集運搬業者にも聞き取りを行いながら検討するという事にさせていただく。 続いて、料金水準について委員の意見を求める。
事務局	なお、大和市の単価算出根拠は、ごみの収集・焼却・埋立・破碎にかかる経費から算出した経費となっている。 考え方は様々あるとは思われるが、廃棄物処理法で条例に定める42円/kgの範囲内で処分という考え方もある。 民業圧迫とならないように収集運搬業者の収集料金も確認する必要がある。

委員	<p>収集運搬業者の中で、袋収集を採用している業者に確認すると比較しやすい。</p>
事務局	<p>聞き取り等により確認させていただく。</p>
部会長	<p>料金水準に関する審議はここまでとし、続いて、収集方法について委員の意見を求める。</p> <p>個人的には、大和市や藤沢市のように戸別に収集する方が排出者責任の明確化に繋がると考える。</p>
事務局	<p>今までの議論の中で、収集運搬業者は量が少ないと効率が悪く、少量排出事業者も頼みにくいという課題があった。</p> <p>個別に集める方が排出者にとっても理想と思われる。</p>
委員	<p>お店のスペースによってはごみを出す場所の問題もある。</p> <p>例えば、雑居ビルは事務所が2階、3階にあり、ごみの排出場所の調整が難しいと思われる。</p>
事務局	<p>雑居ビルで収集運搬の依頼があった場合はどのように対応しているのか。</p>
委員	<p>収集運搬業者によって対応は異なると思われる。</p> <p>事業所毎の収集であれば、事務所内に取りに行くか、建物の前に出してもらおうようになっている。</p> <p>建物単位の収集であれば、共同のごみ集積所があり、管理会社による一括管理となっているところもある。</p>
委員	<p>共同のごみ集積所の場合、排出者が分からなくなる。事業所名を記入してもらえば解決すると思われる。</p> <p>ただ、申込制であれば大きなトラブルはないと思う。</p>
部会長	<p>導入となった場合、収集方法については、申込制の戸別収集が望ましいとさせていただく。</p> <p>続いて、収集体制について委員の意見を求める。</p>
事務局	<p>大和市・藤沢市と同様に家庭系ごみと同じ方法（週2回、曜日収</p>

	<p>集) で収集するとなった場合の問題点として、地域に偏りが生じる可能性がある。</p> <p>先日、飲食店組合のリストに基づき、生ごみ処理機のアンケートを送付した際、東柏ヶ谷と中央の地域が多かった。</p>
事務局	<p>収集の際、家庭系と事業系のごみは分ける必要がある。</p>
委員	<p>家庭系ごみはパッカー車、事業系ごみは巻き込み（圧縮）をしない状態で収集する方法もある。</p> <p>しかしながら、事業系ごみの量が多いと対応できないのではないかと。</p>
事務局	<p>海老名市の場合、大和市や藤沢市とは異なり、三市で焼却処理をしているため、事業系ごみだけ推計値にはできない。</p> <p>収集の効率性だけを考えるのは良くない。</p>
部会長	<p>家庭系ごみと事業系ごみを混載してしまうと、事業系ごみが減ったかどうか分からない。</p> <p>事業系ごみの実績が不明瞭になってしまうのは良くないため、事業系ごみだけを収集することが望ましい。</p>
委員	<p>飲食店組合に加盟している店舗は中央と東柏ヶ谷が多いが、実際の店舗数はそれ以上である。様々な問題が出てくる。</p> <p>家庭系ごみと別の収集日の方が分かりやすいと思う。</p>
事務局	<p>他市の導入事例を海老名市に当てはめた場合、どのような方法が考えられるのかを次回お示しさせていただき、大まかな方向性を議論していただければと思う。</p>
部会長	<p>本日様々議論いただいたが、この施策の導入の実効性についても議論する必要があるため、大まかな歳入やコストを積算してみてもと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>～異議なし～</p>
部会長	<p>それでは他市事例を参考に経費を積算し、お示しいただきたい。</p>

事務局	併せて、生ごみ処理機のアンケート調査の集計結果についても報告させていただく。
部会長	不法投棄や不適正排出を防ぐためには、事業所の情報収集も必要と考えている。 飲食店組合や商工会議所に参加していない店舗も多いと思うが、加盟に向けた PR はあるのか。
委員	加盟するメリットがないという声がある。 何か特典や評価制度が出来れば加盟する店舗も増えると思う。
部会長	それでは、議題「事業系ごみ減量化策に向けた整理」については以上とし、本日の審議を終了する。